

杉野一博 選

水でっぼう水あるところ離れずに

下五で冷静な目が表出された

上澤孝二

笠散るや川村カ子ト測る山

下五がよく解らない

船矢美雪

汗と涙敗戦の将芝に伏す

事実の説明に終わっている

木宮節子

トンネルの数そのまま夏薊

いくつものトンネルを抜けて

杉野一博

黄泉の国堂百万セラゴ河

素材整理を 表現をオーバーにしないように

森山圭悦

棒二前ごとごととん夏は来ぬ

残っている市電の動きが感じられる

山本俊郎

翡翠の止まり木桶の低き枝

描写がしっかりしている

松原智津子

夏の夜の闇に融けこむブルカ女

夜の闇？(イスラムのショール融けこむ夏の闇)

森山圭悦

丘ひとつ麦秋夜の闇に蒸す

夜の闇はくどいが蒸すに心情こもる

松原智津子

噴水の穂先微塵に風の末

下五を風の束とまとめた面白さ

伊東次雄

玫瑰や寄せては返す露西亞文字

中七に思い出が揺らめいている

山本俊郎

ヤシの森冒険ダン吉夏の月

懐かしい情景が浮かぶ

森山圭悦

一閃のありて遠雷近づけり

雷のとらえ方しっかりしている

伊東次雄

冷奴にオリーブオイル嫁の味

現代風 どちらかという川柳的

木宮節子

河骨の黄の色流れに逆らわず

植物の生命感

松原智津子

戦争やデモ発つ前の夏芝居

素材が整理された方がいい

上澤孝二

橋の名を覚えきれずに日傘かな

さらりとした日傘がうかぶ

船矢美雪

モノクロの記憶あわれや蜃気楼

あわれはいらないだろう

山本俊郎

棒の先を擦りつけてゆく壁の夏

なかにひそむ感情をそんな行為にぶつけて

杉野一博

水門へ魚の影や昼寝寛

昼寝から続いていたような幻想

杉野一博

下見板白き番屋に風死せり

焦点の絞り方が的確

上澤孝二

鉄橋の下にドイツ語風青し

ドイツ語だけ書いたのがいい

船矢美雪

吾の齒型標本室に夏の闇

歯形に象徴させた不気味さ

木宮節子

草川機縦横無尽梅雨晴れ間

どうも説明に終わったようだ

伊東次雄